

令和3年度第1回 香美市移住定住推進協議会 会議録

令和3年7月21日(水) 14時～16時
香美市役所3階会議室

◆会議の出欠

出席委員13名 欠席委員3名

◆取り組み状況報告

1. 高知県中山間振興・交通部移住促進課移住促進課より、取り組み・目標発表
2. 香美市定住推進課より、取り組み・目標発表
3. NPO法人いなかみより、取り組み・目標発表

◆提案及び意見交換

【委員】

高知県から報告のありました令和2年度の市町村の取り組み状況について、各市の移住者数の内で香美市はランク外となっていますが、原因にどのようなことが考えられますか。

【高知県】

市町村の移住実績について、昨年は新型コロナウイルスの影響で、各市参加の都市部で開催する移住相談会が中止となりました。このため、令和2年度の県外からの移住実績のは令和元年度に比べ減少となりました。その中で、移住実績の多い市町村はオンラインイベント等を積極的に実施し、実績につながったのではと考えています。

【定住推進課】

本市の昨年度の移住実績は県外移住者のみではランク外となっておりますが、県内を含む移住実績では移住定住推進協議会発足以来最多となり、順調に実績を伸ばしております。今後の課題として、県外からの移住者を増やすべく、県外への情報発信も促進してまいります。

【市長】

移住の施策を推進していくには、住む場所が無くては移住にはつながりません。その物件を増やしていくにあたり、売買物件が多いとのことですが、賃貸物件が少ない理由などは調べられていますか。

また、いなかみさんにお聞きしたいのですが、香美市案内プランの中で、農業や林業体験のコースもありますが実際にやってみた方の反応はどうだったかをもう少し詳しくお聞かせいただきたいです。

【定住推進課】

賃貸物件が少ない理由につきまして、空き家相談をされる方の多くは、高齢や県外への転出などで家の管理を今後していくことが厳しいという方がほとんどです。このため、今後も家を管理をしていく賃貸ではなく、売買し自分の手元から手放したいという方が多く、

賃貸物件での登録が少ない状態です。

【委員】

農業体験を希望される方がいらっしゃいますが、参加される方は様々で、品目まで決めて農業を始めたいという方や、家庭菜園程度で農業をやってみたいという方がおられます。その中でも、農業を本気で仕事にしたいという方の数は少ないですがいらっしゃって、そんな方は農業体験などを通して、地元の農家さんとつながって農業従事につながっている状況です。

【定住推進課】

香美市の空き家の補足として、香美市内の特に香北町、物部町で売買や賃貸が進まない現状について、いろいろな理由があるのですが、その中でも特に多いのが施設入所などで管理ができなくなった空き家です。このような物件は入所からずっと放置された状態になり、いざ売買や賃貸しようとするときには、家が傷んでどうしようもなくなっているということがあります。

【委員】

香美市はとても過ごしやすい所で、都会の生活に疲れた方にちょうど田舎暮らしを味わえる場所です。その中で、移住者が増えていくためにも、企業誘致を進めていくことが非常に重要ではないかと思っています。ネットワークさえ繋がっていれば、IT関係の企業などは問題無くオフィスを置くことができるはずで、さらに香美市は地盤が硬く地震にも強い、この条件に加え、高知工科大学との連携などもあり、今後の企業誘致に期待を寄せるところです。今後の企業誘致の施策についてお聞かせください。

【市長】

まず、生きていくためには住む場所と働き先というのが必要です。その勤め先の企業を誘致するために、市として工業団地の整備なども行ってきましたが、この団地は水質基準が厳しく、3区画ほど空いている状態です。企業誘致には大きな面積が必要で、後は交通の便が良くなったあけぼの街道や山田バイパス付近への誘致ができればと考えています。

【委員】

ありがとうございました。

【市長】

空き家の話に戻りますが、空家の状態が悪く貸せないという方や片付けていないので貸せないといった方にどのような支援があれば、空き家を提供いただき、移住者増につなげられるかをお聞かせいただきたい。

また、高齢者の住宅について、香美市は耐震化があまり進んでいない状況で、市の補助金を利用して耐震化を実施してもらってる状況にあります。しかしながら、その補助金を活用して耐震化した物件も、施設入所等で使用されなくなり、廃墟になってしまうといったことがあります。ぜひ、このような高齢者の住宅などで、施設入所等のため利用されなくなった物件を空き家にしないような取り組みを考えていただきたい。

【定住推進課】

現在、香美市では空き家改修補助金といった形で移住者の方や空き家所有者のリフォーム等の費用を補助しています。ただ、本年度の補助金は3枠あったのですが、現時点で埋

まってしまう状態です。来年度に向けては、補助金の枠を増やして多くの方に利用していただけるように、予算要求を行っていくよう準備しております。

高齢者の住宅の活用につきましては、定住推進課でも頭を抱える問題であり、施設入所等で不在の方とは連絡を取る事さえ難しい状況です。今後の対策として、高齢者施設などに伺い、空き家バンクの資料などを親族の方にお渡しいただくことなどを予定しております。

【定住推進課】

市の補助金として、リフォームのための補助金などがあれば助かるのではと思います。市産材を利用する場合で、材の部分だけでも補助があれば子育て層などの若い層には非常に助けになるのではと感じています。

【委員】

移住希望者がどんな家を求めているかについて、1番は雨漏りや床が抜けているかといったことが気になるようです。ただ、空き家バンクにはあまりそういった物件はないので、次に水周りや耐震化を確認される方が多く、そこがクリアできていれば若い層の移住を促進できると考えています。

【市長】

水周りの改修や市産材を活用したリフォームに、市としてプラスの支援を検討していきたいと思いました。非常に参考となる意見をいただき、ありがとうございました。

【高知県】

県として、今年度から移住者が居住するための、軽微な修繕を補助するメニューを補助金に追加しました。DIYなどで家を直される方などに、ぜひ利用いただけるよう、香美市でも準備いただければと思います。

【副市長】

コロナ禍の状況で、インターネットでの情報発信が非常に有用であると感じているところです。そんな中で、ウェブブラウザの検索エンジンで『高知県 移住』などと検索してもなかなか香美市の移住サイトはトップに上がってこない状況です。いろいろな方法があると思いますので、ぜひ上位に上がってくるよう工夫していただきたい。

また、これからの情報発信は動画で行っていくのが効果的だと思っております。空家の情報なども動画での発信を検討いただきたい。

【委員】

空き家バンクのホームページについて、空家の情報は細かく掲載されていて、改修が必要かなどが分かるようになっているのですが、実際改修にどれくらいの費用がかかるのかまでは掲載が無く、また、空き家改修の補助金についても空き家バンクのページからすぐ閲覧できないので、空き家バンクのホームページをもっと充実させていただきたい。

【定住推進課】

ホームページの掲載につきまして、空き家改修補助金のページへのリンクはすぐに編集して掲載させていただきます。ただ、改修費用の目安の掲載につきましては、実際の費用はもっとかかったなどのトラブルになる恐れがあるので、検討課題とさせていただきますよう、よろしく願いいたします。

【委員】

バカロレア教育について、香北町の大宮小学校でバカロレア教育を受けた生徒達はその後、中学校で引き続きバカロレア教育を受けようとする、高知市の高知国際中学校に進学することになり、高知市に出て行ってしまうこととなりますが、バカロレアを目的とした移住者の方はどの様に考えられているか相談はありませんか。

【委員】

現時点では、どこの中学校に進学するかの相談はありませんが、香北中学校も大宮小学校に合わせてバカロレア教育の認定を受けるべく活動しているようなので、認定になればそのまま香北中学校へ進学という選択肢があるのかなと思っています。

【委員】

ありがとうございました。

それでは、これで会議を終了とさせていただきます。

お疲れ様でした。